



2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月13日

東

上場会社名 株式会社 天満屋ストア 上場取引所
コード番号 9846 URL <https://www.tenmaya-store.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 重明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 國府 慎一郎 (TEL) 086-232-7266
定時株主総会開催予定日 2026年5月26日 配当支払開始予定日 2026年5月27日
有価証券報告書提出予定日 2026年5月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の連結業績(2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	59,240	1.0	2,185	△4.3	2,271	△5.6	1,350	△14.5
2025年2月期	58,680	0.2	2,283	0.3	2,406	0.8	1,578	32.3

(注) 包括利益 2026年2月期 1,569百万円(△3.7%) 2025年2月期 1,630百万円(28.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	117.56	—	5.0	5.2	3.7
2025年2月期	137.50	—	6.2	5.7	3.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	45,506	27,750	60.9	2,411.98
2025年2月期	42,050	26,338	62.5	2,290.30

(参考) 自己資本 2026年2月期 27,710百万円 2025年2月期 26,300百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	2,951	△2,688	△252	581
2025年2月期	2,960	△834	△2,262	571

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	7.00	—	7.00	14.00	161	10.2	0.6
2026年2月期	—	7.00	—	8.50	15.50	179	13.2	0.7
2027年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		16.4	

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	6.6	1,150	7.5	1,150	1.8	700	16.2	60.92
通 期	63,000	6.3	2,300	5.3	2,300	1.3	1,400	3.7	121.85

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期	11,550,000株	2025年2月期	11,550,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期	61,135株	2025年2月期	66,731株
③ 期中平均株式数	2026年2月期	11,488,074株	2025年2月期	11,483,269株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年2月期の個別業績（2025年3月1日～2026年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	50,543	△1.2	1,961	1.9	2,148	0.8	1,341	△7.3
2025年2月期	51,145	△0.3	1,924	△5.0	2,130	△2.8	1,446	18.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期	116.76	—
2025年2月期	125.98	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	44,107	26,163	59.3	2,277.25
2025年2月期	40,728	24,768	60.8	2,156.89

(参考) 自己資本 2026年2月期 26,163百万円 2025年2月期 24,768百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
役員の異動	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、米国の通商政策の動向や不安定な為替相場等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と生産性の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益(売上高及び営業収入)は、592億40百万円(前連結会計年度比1.0%増)、営業利益は21億85百万円(前連結会計年度比4.3%減)、経常利益は22億71百万円(前連結会計年度比5.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、13億50百万円(前連結会計年度比14.5%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のさらなる強化と地産地消などの特色ある品揃えに注力するとともに、時間帯別の品揃えの充実により販売力の強化にも取り組んでまいりました。また、原材料価格の高騰による相次ぐ値上げへの対応として、「超得」によるEDLP(低価格戦略)の充実に取り組むほか、販促の強化として「割引の日」を導入し、カテゴリーや単品の割引訴求により、集客力の向上とさらなる売上の獲得に取り組んでまいりました。さらに、当社において9月に和気店(岡山県和気郡)、アリオ倉敷店(岡山県倉敷市)及び11月に大安寺店(岡山市北区)をそれぞれ改装し、既存店の活性化にも努めてまいりました。加えて、4月に岡山県備前市及び兵庫県赤穂市に店舗展開している株式会社ヒナセショッピングセンターを子会社化し、8月には塩屋店(兵庫県赤穂市)及び日生店(岡山県備前市)を改装いたしました。また、塩屋店で展開する「移動スーパーとくし丸」も当社グループとして稼働し、新たな商圈を開拓いたしました。そのほか、地元の高校・大学と連携し地元食材を使用した商品開発や販売、自治体や学校法人との包括協定締結などにより地域・社会貢献にも取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の営業収益は514億3百万円(前連結会計年度比0.8%増)、営業利益は18億94百万円(前連結会計年度比2.0%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売及び飲食事業が主なものであり、原材料価格高騰の影響を受け、厳しい経営環境が続くなか、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。また、株式会社でりかエッセンにおいて9月にアリオ倉敷店に「おめで鯛焼き本舗」を、11月に大安寺店に「できたておむすび米米(べいべい)」をそれぞれ開業し、グループシナジーの創出に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の営業収益は、78億37百万円(前連結会計年度比2.0%増)、営業利益は2億90百万円(前連結会計年度比16.9%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億56百万円増加し、455億6百万円(前連結会計年度比8.2%増)となりました。これは主に、建設仮勘定の増加などにより有形固定資産が31億34百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億44百万円増加し、177億55百万円(前連結会計年度比13.0%増)となりました。これは主に、その他流動負債に計上される設備関係電子記録債務の増加により流動負債が10億84百万円増加し、長期借入金の増加などにより固定負債が9億59百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億11百万円増加し、277億50百万円(前連結会計年度比5.4%増)となりました。これは主に、当期純利益により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、5億81百万円(前連結会計年度比1.7%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が3億61百万円減少したことや仕入債務の増減などにより、前連結会計年度に比べ9百万円減少し、29億51百万円(前連結会計年度比0.3%減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が19億66百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ18億53百万円減少し、26億88百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入が20億円増加したことや短期借入金の純増減などにより、前連結会計年度に比べ20億9百万円増加し、2億52百万円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、所得環境の改善を背景に景気は回復基調で推移すると期待されるものの、中東情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や米国政権の政策の影響に加え、継続的な物価上昇に伴う個人消費の停滞が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き販売力の強化と生産性の向上に努め、経営基盤の強化と持続的な企業価値の向上に注力してまいります。

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のブラッシュアップと地産地消などの特色ある品揃えを行い、高付加価値商品のセブンプレミアムに加えて、新販促「値下げ宣言」によるEDLP(低価格戦略)の強化やオール日本スーパーマーケット協会のプライベートブランド「くらし良好」など、低価格帯商品の拡販に努めてまいります。また、セルフレジや電子棚札などのデジタル技術を充実することで生産性の向上を図るとともに、配送トラックの積載効率の向上など物流問題への対策を行い、業務の効率化とコスト削減に努めてまいります。さらに、地元の自治体や学校法人との包括協定により地域・社会貢献に意欲的に取り組んでまいります。また、今秋グランドオープン予定の「天満屋ハピーズ西大寺モール」(岡山市東区)の完成に先駆けて、2026年3月に中核となるスーパーマーケット「天満屋ハピーズ西大寺店」をオープンいたしました。今後オープン予定の多彩なテナントとの複合展開により、地域の交流の場として機能を高め、モール全体のシナジー効果を追求するとともに地域の活性化にも努めてまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を徹底するとともに、多様なニーズに対応するために商品開発力の強化、生産性の向上およびQSC(商品の品質、サービス、清潔さ)の強化にも努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、営業収益630億円(前連結会計年度比6.3%増)、営業利益23億円(前連結会計年度比5.3%増)、経常利益23億円(前連結会計年度比1.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は14億円(前連結会計年度比3.7%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の状況を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	571,768	581,519
売掛金	1,533,005	1,559,018
商品	1,666,265	1,703,936
貯蔵品	22,897	25,208
その他	1,826,692	1,961,755
流動資産合計	5,620,630	5,831,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,954,832	47,850,472
減価償却累計額	△38,877,207	△37,952,401
建物及び構築物(純額)	10,077,624	9,898,071
機械装置及び運搬具	2,318,489	2,449,611
減価償却累計額	△1,491,119	△1,509,689
機械装置及び運搬具(純額)	827,370	939,922
工具、器具及び備品	4,743,304	4,940,584
減価償却累計額	△4,194,160	△4,313,019
工具、器具及び備品(純額)	549,143	627,564
土地	14,360,648	14,250,781
リース資産	2,744,552	2,642,918
減価償却累計額	△2,146,950	△2,179,191
リース資産(純額)	597,601	463,726
建設仮勘定	214,026	3,580,749
有形固定資産合計	26,626,415	29,760,816
無形固定資産		
のれん	455,005	410,972
借地権	2,168,796	2,202,796
その他	340,569	423,491
無形固定資産合計	2,964,371	3,037,260
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263,736	1,577,284
差入保証金	1,513,009	1,426,947
敷金	3,211,822	3,147,513
繰延税金資産	741,274	578,077
その他	121,883	159,312
貸倒引当金	△13,100	△12,400
投資その他の資産合計	6,838,625	6,876,735
固定資産合計	36,429,412	39,674,812
資産合計	42,050,043	45,506,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,009,658	3,028,404
電子記録債務	402,030	343,293
短期借入金	2,700,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,121,799	671,252
リース債務	325,755	159,404
未払法人税等	324,988	257,189
契約負債	284,777	278,569
賞与引当金	122,538	124,780
その他	3,457,140	5,470,587
流動負債合計	11,748,686	12,833,481
固定負債		
長期借入金	4,000	1,064,796
リース債務	380,253	357,937
退職給付に係る負債	1,170,270	1,107,788
役員株式給付引当金	56,934	37,054
利息返還損失引当金	2,510	—
資産除去債務	417,419	533,072
長期預り保証金	50,634	35,446
長期預り敷金	1,624,880	1,622,274
繰延税金負債	114,653	107,567
その他	140,905	56,460
固定負債合計	3,962,462	4,922,397
負債合計	15,711,149	17,755,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	17,277,250	18,466,163
自己株式	△77,883	△71,352
株主資本合計	26,244,617	27,440,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,459	334,931
退職給付に係る調整累計額	△69,891	△63,996
その他の包括利益累計額合計	55,567	270,934
非支配株主持分	38,708	39,374
純資産合計	26,338,893	27,750,371
負債純資産合計	42,050,043	45,506,250

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	55,407,788	56,016,467
売上原価	39,677,761	40,249,102
売上総利益	15,730,027	15,767,365
営業収入		
不動産賃貸収入	2,366,052	2,298,270
共同配送手数料収入	512,489	526,496
その他の営業収入	393,717	398,988
営業収入合計	3,272,259	3,223,754
営業総利益	19,002,286	18,991,120
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	373,268	388,089
販売諸費	1,554,727	1,577,064
給料及び賞与	5,315,495	5,512,488
賞与引当金繰入額	122,538	129,044
退職給付費用	111,575	100,149
賃借料	2,486,678	2,487,299
水道光熱費	1,599,487	1,372,123
減価償却費	1,490,432	1,545,996
その他	3,664,238	3,693,821
販売費及び一般管理費合計	16,718,440	16,806,077
営業利益	2,283,846	2,185,042
営業外収益		
受取利息	2,566	2,877
受取配当金	77,518	78,529
補助金収入	39,079	35,966
協賛金収入	15,430	9,026
その他	34,528	31,978
営業外収益合計	169,122	158,378
営業外費用		
支払利息	36,416	45,081
その他	9,585	27,334
営業外費用合計	46,001	72,416
経常利益	2,406,966	2,271,004
特別利益		
固定資産売却益	20,905	10,536
投資有価証券売却益	59,542	—
特別利益合計	80,447	10,536
特別損失		
固定資産除却損	60,120	99,756
減損損失	94,469	65,644
店舗閉鎖損失	55,754	210,073
支払補償費	9,650	—
特別損失合計	219,994	375,474
税金等調整前当期純利益	2,267,420	1,906,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
法人税、住民税及び事業税	600,693	506,167
法人税等調整額	83,390	46,220
法人税等合計	684,084	552,387
当期純利益	1,583,335	1,353,679
非支配株主に帰属する当期純利益	4,367	3,066
親会社株主に帰属する当期純利益	1,578,968	1,350,612

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
当期純利益	1,583,335	1,353,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,921	209,472
退職給付に係る調整額	21,900	5,894
その他の包括利益合計	46,821	215,366
包括利益	1,630,157	1,569,045
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,625,790	1,565,979
非支配株主に係る包括利益	4,367	3,066

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,697,500	5,347,750	15,836,880	△77,883	24,804,247
当期変動額					
剰余金の配当			△138,599		△138,599
親会社株主に帰属する当期純利益			1,578,968		1,578,968
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	1,440,369	—	1,440,369
当期末残高	3,697,500	5,347,750	17,277,250	△77,883	26,244,617

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	100,537	△91,791	8,745	36,740	24,849,734
当期変動額					
剰余金の配当				△2,400	△140,999
親会社株主に帰属する当期純利益					1,578,968
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	24,921	21,900	46,821	4,367	51,189
当期変動額合計	24,921	21,900	46,821	1,967	1,489,158
当期末残高	125,459	△69,891	55,567	38,708	26,338,893

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,697,500	5,347,750	17,277,250	△77,883	26,244,617
当期変動額					
剰余金の配当			△161,699		△161,699
親会社株主に帰属する当期純利益			1,350,612		1,350,612
自己株式の処分				6,531	6,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,188,913	6,531	1,195,444
当期末残高	3,697,500	5,347,750	18,466,163	△71,352	27,440,061

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	125,459	△69,891	55,567	38,708	26,338,893
当期変動額					
剰余金の配当				△2,400	△164,099
親会社株主に帰属する当期純利益					1,350,612
自己株式の処分					6,531
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	209,472	5,894	215,366	3,066	218,433
当期変動額合計	209,472	5,894	215,366	666	1,411,477
当期末残高	334,931	△63,996	270,934	39,374	27,750,371

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,267,420	1,906,067
減価償却費	1,512,797	1,572,089
減損損失	94,469	65,644
のれん償却額	44,032	60,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	700	△700
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,758	2,241
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76,101	△73,759
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	11,130	△19,880
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,187	△2,510
受取利息及び受取配当金	△80,084	△81,407
支払利息	36,416	45,081
固定資産除却損	60,120	99,756
固定資産売却損益 (△は益)	△20,918	△10,536
投資有価証券売却損益 (△は益)	△59,542	—
売上債権の増減額 (△は増加)	109,221	△21,056
棚卸資産の増減額 (△は増加)	44,747	△6,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	△720,279	△67,600
その他	488,780	24,275
小計	3,721,482	3,491,522
利息及び配当金の受取額	71,044	76,044
利息の支払額	△36,084	△45,941
法人税等の支払額	△795,715	△570,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,960,727	2,951,107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△931,156	△2,897,715
有形固定資産の売却による収入	72,496	145,440
無形固定資産の取得による支出	△164,722	△161,266
投資有価証券の取得による支出	△1,185	△1,186
投資有価証券の売却による収入	79,491	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	836
資産除去債務の履行による支出	△10,258	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,955	△9,141
敷金及び保証金の回収による収入	232,613	236,498
預り敷金及び保証金の受入による収入	9,165	93,315
預り敷金及び保証金の返還による支出	△119,074	△95,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△834,585	△2,688,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	500,000	△290,000
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,343,458	△1,511,596
リース債務の返済による支出	△278,208	△289,216
自己株式の売却による収入	—	1,984
配当金の支払額	△138,599	△161,699
非支配株主への配当金の支払額	△2,400	△2,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,262,666	△252,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△136,524	9,750
現金及び現金同等物の期首残高	708,293	571,768
現金及び現金同等物の期末残高	571,768	581,519

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、販売する商品やサービスの内容の類似性に基づき集約された「小売事業」、「小売周辺事業」の2つを報告セグメントとしております。

「小売事業」は、食料品、雑貨、衣料品の小売業及びこれに付帯する店舗賃貸業等であります。

「小売周辺事業」は、惣菜等調理食品の製造販売業、ファミリーレストラン等の外食事業及び商品供給に係る事業であります。

2 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円) (注) 1	連結財務諸表 計上額(千円)(注) 2
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	44,446,796	7,582,183	52,028,980	—	52,028,980
生活用品	918,749	—	918,749	—	918,749
衣料品	2,371,285	—	2,371,285	—	2,371,285
その他	891,307	103,673	994,981	—	994,981
顧客との契約から生じる収益	48,628,138	7,685,857	56,313,996	—	56,313,996
その他の収益	2,366,052	—	2,366,052	—	2,366,052
外部顧客への営業収益	50,994,190	7,685,857	58,680,048	—	58,680,048
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	146,193	1,531,197	1,677,391	△ 1,677,391	—
計	51,140,384	9,217,055	60,357,439	△ 1,677,391	58,680,048
セグメント利益	1,933,794	350,051	2,283,846	—	2,283,846
セグメント資産	38,649,192	3,768,841	42,418,033	△ 367,990	42,050,043
その他の項目					
減価償却費	1,396,340	116,457	1,512,797	—	1,512,797
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,333,878	182,776	1,516,654	—	1,516,654

- (注) 1 セグメント資産の調整額△367,990千円には、セグメント間の債権に対する相殺消去△2,130,290千円、全社資産1,762,299千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現金及び預金、投資有価証券等であります。
- 2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円) (注) 1	連結財務諸表 計上額(千円)(注) 2
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	45,080,618	7,821,142	52,901,760	—	52,901,760
生活用品	844,362	—	844,362	—	844,362
衣料品	2,193,413	—	2,193,413	—	2,193,413
その他	986,432	15,981	1,002,414	—	1,002,414
顧客との契約から生じる収益	49,104,828	7,837,123	56,941,952	—	56,941,952
その他の収益	2,298,270	—	2,298,270	—	2,298,270
外部顧客への営業収益	51,403,098	7,837,123	59,240,222	—	59,240,222
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	83,516	642,864	726,380	△ 726,380	—
計	51,486,615	8,479,988	59,966,603	△ 726,380	59,240,222
セグメント利益	1,894,306	290,736	2,185,042	—	2,185,042
セグメント資産	41,130,572	4,340,076	45,470,649	35,600	45,506,250
その他の項目					
減価償却費	1,431,673	140,415	1,572,089	—	1,572,089
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,304,759	191,652	1,496,412	—	1,496,412

(注) 1 セグメント資産の調整額35,600千円には、セグメント間の債権に対する相殺消去△2,094,068千円、全社資産2,129,668千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現金及び預金、投資有価証券等であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、連結損益計算書の営業収益(売上高及び営業収入)の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、連結損益計算書の営業収益(売上高及び営業収入)の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
減損損失	94,469	—	—	94,469

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
減損損失	50,363	15,280	—	65,644

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
当期償却額	—	44,032	—	44,032
当期末残高	—	455,005	—	455,005

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
当期償却額	16,680	44,032	—	60,713
当期末残高	—	410,972	—	410,972

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
1株当たり純資産額	2,290.30円	2,411.98円
1株当たり当期純利益	137.50円	117.56円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
- 2 株主資本において自己株式として計上されている取締役に対する株式交付信託に残存する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式数に含めております。
- 1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度66,681株、当連結会計年度61,876株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度66,681株、当連結会計年度61,085株であります。

3 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	26,338,893	27,750,371
普通株式に係る純資産額(千円)	26,300,185	27,710,996
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	38,708	39,374
普通株式の発行済株式数(株)	11,550,000	11,550,000
普通株式の自己株式数(株)	66,731	61,135
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	11,483,269	11,488,865

(2) 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,578,968	1,350,612
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,578,968	1,350,612
普通株式の期中平均株式数(株)	11,483,269	11,488,074

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

1. 代表者の異動

該当事項はありません。

2. その他の役員の異動

(1) 新任取締役候補者(2026年5月26日予定)

取 締 役 守 分 孝 治 (現 藤徳物産株式会社相談役)

取 締 役 小 野 由里子 (現 株式会社天満屋コーポレート本部 総務・法務・
広報・秘書管掌部長)

なお、守分孝治氏及び小野由里子氏は、社外取締役候補者であります。

(2) 退任予定取締役(2026年5月26日予定)

取 締 役 石 原 久美子